



問 豊かな国土に国民が生活していることが国富

答 裁判についての意見は差し控える

日本共産党 川崎 篤子 議員

議員 「運転してはならない」と画期的判決を言い渡した福井地裁。

①原発事故において、命とくらしを守ることに大切なものはない。

②原発は、事故とともに被害が拡大する。こんな技術はほかに存在しない。③関電の「基準地震動を超える地震は考えられない」とは新たな安全神話。④豊かな国土に国民が生活していることが国富である。

これら4点に関し村長はどうお考えか。

村長 裁判についての意見は差し控える。

議員 村長は、原電が、適合性審査の申請後「再稼働に直結するものではない」とした根拠は何か。すべての住民を被ばくさせず避難できるか。村民をどう守るか。



この土地に安心して住み続けたい



問 東海村における持続可能性をどう考えるのか

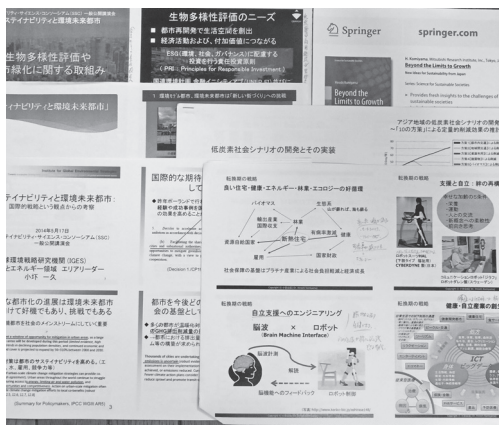
答 街の今の環境をいかに守れるかを念頭とする

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 持続可能性（サステナビリティ）はすべての項目の傘になる重要なキーワードであり、最終的な結果につながるものである。多様な事業はそれぞれリンクし、成果が積み上げられていく。迎える少子・超高齢化社会の飽和状態における持続可能性とは何かを考える時期。量的なものが飽和した後は人生の質をいかに維持し続けるか、将来の東海村の方向性を見据えどう取り組むのか、考えを伺う。

村長 ベースになるのは東海というまちの今の環境をいかに守っているのかを念頭に、それが実現できるまちづくり、それは役場が指導するものでなく普段の生活の中で自然に実現できるまちづくりが理想。村政運営の中で村の財源を活用し支援を

行っていく仕組みを作り、事業として行っていくことが呼び水となり、環境、医療、福祉、教育へとつながる。行政の縦割りに横串を通していくように、それをダイナミックに、戦略的に進め、環境都市等、思い切った政策を実現していく都市を考えていきたい。



持続可能性に関する検討資料